

# 平成30年の犯罪抑止目標について

## 1 抑止目標

- 目指すもの ～ 安全・安心な滋賀の実現  
スローガン ～ 滋賀県は絶対に犯罪を許しません！  
犯罪抑止目標 ～ 「さらなる減少を目指して」 ～ みんなで取り組もう！アンダー8,000件 ～

### ◆◆◆ 設定理由 ◆◆◆

#### (1) 滋賀県基本構想の目標指標達成のため

滋賀県基本構想における犯罪抑止に関する目標とする指標は、平成30年において「犯罪率（人口1万人あたりの刑法犯認知件数）を全国平均以下」としており、平成30年の全国平均犯罪率（推計）を滋賀県の人口に当てはめると認知件数は約9,000件となり、基本構想の目標を達成するには、この数値を下回る目標が必要となる。

#### (2) 同規模県の犯罪率よりも高いため

人口同規模県と比較すると、滋賀県の人口（平成29年1月現在）は全国26位であるのに対し、犯罪率は全国18位と高いことから、本県については、犯罪総量抑止についても継続的な対策が必要である。

#### (3) 県民にわかりやすいもの

平成29年中の刑法犯認知件数は、4年連続減少し、8,737件（暫定値）となったが、今後も官民一体となった減少傾向を定着させ、安全で安心して暮らせる滋賀を実現するための1つの努力目標として、県民にわかりやすく数字（件数）で示すもの。

以上を勘案し、平成30年の犯罪抑止目標については、平成29年中の刑法犯認知件数と、基本構想の指標である「犯罪率全国平均以下」の達成を維持することや更なる犯罪総量抑止を推進すること、県民が分かりやすく目指しやすい「8,000件以下」とすることから、犯罪抑止目標を「さらなる減少を目指して～みんなで取り組もう！アンダー8,000件～」とする。

## 2 重点犯罪の指定

(件数は、暫定値)

項目	設定理由
特殊詐欺	<b>高齢者を中心に被害が後を絶たないため</b> 被害件数・被害額が増加し、相談件数が大幅に増加するなど、最重点課題として抑止対策の推進が必要。 * 被害件数 161件（前年比+20件） 被害金額 約4億9,400万円（前年比 +約2億4,800万円） * 高齢者（65歳以上）の割合 件数 約50.3%、被害金額 約73.1%
子ども・女性対象犯罪	<b>県民の関心が高く、体感治安に直ちに影響するため</b> 体感治安に直ちに大きな影響を与える犯罪であり、発生抑止対策が必要。 * 性犯罪（強制性交等、強制わいせつ、痴漢等）272件（前年比△10件） 声かけ・つきまとい事案 676件（前年比+174件）
住宅侵入盗 (空き巣、忍込み、居空き)	<b>体感治安に著しく影響するため</b> 強盗等の凶悪事件に発展する恐れが高く、県民の体感治安に大きな影響を与える犯罪 * 件数 351件（前年比△6件）